事務事業名	は塚整備事業に要	:する一般的経		医耒栓消部
	費		課(室)名	農林水産課
【基本情報】				
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して	
政策	0 1 農業・水産業を振	興する		
施策	01農業を振興する			
事業実施期間	~ 永	年		
事 業 区 分	①一般事務経費事業			
地 区 別	市内全域			
関連根拠法令等	土地改良法			
【事業概要】				
現状と課題	一足が 上州利田の低て	による農業所得の	停滯、担い	ため、特に生産性向上の立ち ハ手の減少と高齢化等、水田 る。
目的	ほ場整備事業の維持管	理等業務を円滑に	推進する。	
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか				
対象	ほ場整備事業			
※誰、何に対して				
	ほ場整備区域内の維持	管理等を円滑に推	進するため	か必要な事務を行う。
事 業 内 容				
※目的達成のため の手段・手法				
00十段 714				
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会	
事業費合計	156 千円		06農林7	
国庫支出金	千円		0 3 農地	<u> </u>
県 支 出 金		目	04ほ場	整備事業費
地方債			0 0 5 lFt	日
その他特財	千円	細目	000144	揚整備事業
一一般財源	156 千円			
【コスト推移】		() 1. boho		
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)		成26年度(決算)
事業費合計	156 千円	154	千円	175 千円
【総合評価】		· · · · — / ± /		
		小 □改善 □統合		•
総合評価	予算の適正な執行によ 果をあげている。	り、ほ場整備事業	を円滑に書	推進するうえで十分な事業効
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	/ (ω/ () () () () () () () () () (
	1			

事	務	事	業	名	ほ場整備事業に要する一般的経	部	局。	名	産業経済部
7'	3))	7'	\wedge	^µ	費	課	(室) 🧷	名	農林水産課

【対象】

	沙							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
4	H +F7	1 m										
放 5	果 指	保										

事務事業名	土地改良行政に要す 費	する一般的経	部 局 名 産業経済部 課(室)名 農林水産課
【基本情報】	×		味 (主) 和 成 (17) / 上 M
基 本 目 標	04にぎわいの中で暮ら	こせろまちをめる	ゴ 1. て
政策			
施策		~ / ~	
事業実施期間		 E	
事業区分			
	市内全域		
関連根拠法令等	土地改良法		
【事業概要】			
現状と課題	地字のひわさぜ 仕字。	ご起因する突発事・公共施設への□	事故の発生件数が増加傾向にあり、農業 二次被害を及ぼすリスクが高まってい
目的	土地改良事業を円滑に推	推進する。	
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
対 象 ※誰、何に対して	土地改良事業		
事業内容 ※目的達成のため の手段・手法	農業の生産性の向上、農 構造の改善を図るため、 円滑に推進する。	製業総生産の増力 農業生産の基盤	大、農業生産の選択的拡大、更には農業 盤の整備及び開発により土地改良事業を
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会 計	廿 0 1 一般会計
事業費合計	297 千円	款	06農林水産業費
国庫支出金	千円	項	03農地費
県 支 出 金		目	0 1 農地総務費
地方債			 005土地改良行政に要する一般的経
その他特財		細目	■ 1 0 0 5 土地以及行政に要する一般的 組 ■ 費
一 股 財 源	297 千円		
【コスト推移】	平成28年度(決算見込)	- 平代07年度(沖管	算) 平成26年度(決算)
事業費合計		平成27年度(決算	昇) 平成26年度 (沃昇) 331 千円
【総合評価】	201 111	010) 下日 901 111
	□拡充 ■維持 □縮小		
w A 郵 価	予算の適正な執行により		<u> </u>
総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	果をあげている。		

事	務	事	業	名	土地改良行政に要する一般的経	部	局 :	名	産業経済部
7'	4))	7'	\wedge	泊	費	課	(室)	名	農林水産課

【対象】

	2/\ I							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果	- 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
		Laud					•				
成分	果 指	標果									

事務事業名	農業行政に要する	一般的栓質	部 局 名	医 美						
T 1/3 7 7.			課(室)名	農林水産課						
【基本情報】										
基本目標	■ 04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して							
政策										
施策										
事業実施期間		 年								
事業区分		_1								
	市内全域									
関連根拠法令等										
【事業概要】										
現状と課題	1ヶ台市がかみて スト・	により米消費量ので後継者不足及び	減少が米価農家の高齢	Hの下落に連動し、農業離れ 冷化により耕作放棄地が増						
目 的	円滑な農業行政の推進	を図る。								
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか										
対象	農林水産課職員、県、「	国等の農業行政関	係機関及び	 ド市内の農業関係者						
※誰、何に対して										
事業内容	加古川市の農業行政を 車の整備、行政関係機	加古川市の農業行政を円滑に推進するため、必要とする消耗品等の購入、公用 車の整備、行政関係機関への負担金の負担や農業団体の支援を行う。								
※目的達成のための手段・手法										
【コスト】	<u> </u>	【会計】								
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会	<u>></u> 글+						
事業費合計			0 6 農林水							
国庫支出金			0 1 農業費							
関 支 出 金			0 2 農業総	•						
源地方債		目	· - / - / - / - / - / - / - / - / - / -	M// PC						
大 の 他 特 財		細目	005農業	美行政に要する一般的経費						
訳 一般 財源										
【コスト推移】										
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)) 平/	成26年度(決算)						
事業費合計		996		913 千円						
【総合評価】										
Killer in terminal	□拡充 ■維持 □縮力	小 □改善 □統合	↑ □廃止	□休止 □完了						
総合評価		かかる事務経費で		登縮減のうえ必要最低限の経						
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	東くずが770117~11・・・・・	CV So								
	A .									

重	終	重	丵	夕	農業行政に要する一般的経費	部	局	名	産業経済部
7'	477	7'	π	~ µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

	~,,,,							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

_ 【 尹	美 表領	1						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
					•			
活真	動指析結果	票						
分章	折 結 身	果						

成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
4	H +F7	1 m										
放 5	果 指	保										

農業振興事業に要する一般的経 部 局 名 産業経済部 事務事業名 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 永年 事 分 ①一般事務経費事業 区 その他 地 区 别 関連根拠法令等 【事業概要】 ①優良農地の保全に努めているが、経済事情等の変化で、やむをえなく他の用途に変更せざるを得ない場合がある。また、農業経営基盤強化促進法の変更等により市の判断を求められる場合がある。②米は下の主要作物である。③地産 現状と 課題 地消の必要性を求められ、地域ブランドの確立が必要である。 ①優良農地の確保 ②主要作物である米の栽培方法の普及 ③地域ブランド米 的 目 の普及並びに食育の場の提供 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか ①、②は農業者が対象 ③は児童が対象 対 象 ※誰、何に対して ①農業地域振興協議会の開催による農業振興地域等の整備計画の検討 ②お米の栽培ごよみの作成 ③地域ブランド米を学校給食で使用してもらい、価格差 事 業 内 容 を補てん ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 計 01一般会計 会 06農林水産業費 事業費合計 541 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 03農業振興費 千円 県 支 出 金 目 源 方 債 千円 地 内 005農業振興事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 541 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業費 合 計 541 千円 526 千円 382 千円 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 本事業は農業振興地域等、地域農政の健全な推進に必要であると考える。ま 総 合 評 価 た稲作は本市では中心となる作物であるため栽培技術の確立を担うとともに、 食育にもつながる地元産米の学校給食利用は効果的な地元米の普及に効果があ ※妥当性·有効性 ると考える。 ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価

事	務	事	業	名	農業振興事業に要する一般的経	部	局 名	産業経済部
7'	3))	7'	\wedge	^H	費	課	(室) 名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

1 +	未夫族	!						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
江	fil +12 -	F 100 5						
分	動 指 ⁵ 折 結 :	果						

成	果	- 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
4	H 11/	Loui				•			•			
成分	果 指	標 果										

事務事業名	農村整備事業に要 費	するー	-般的経		司 名 玄) 名	産業経済部農林水産課						
【基本情報】	×			H/K (=	土/ ~日	KYI'/IN/ELHIN						
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるる	まちをめざ	して								
政策	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,											
施策												
事業実施期間	~ 永	年										
事 業 区 分	①一般事務経費事業											
地 区 別	市内全域											
関連根拠法令等	土地改良法											
【事業概要】												
現状と課題	生産基盤の整備と一体成、農業構造の改善(ている。	的に生活 担い手 <i>0</i>	5環境を整 り育成、農 	備し、 地利月 	快適 用集積	iで活力ある農村地域の形 i効果の持続)が必要とされ						
目 的	農村整備事業を円滑に	推進する										
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか												
対象	農村整備事業											
※誰、何に対して												
事 業 内 容	農村整備事業を円滑に	推進する	5ため必要	な事務	务を行	÷5.						
※目的達成のため												
の手段・手法												
【コスト】		[会計】									
	平成28年度(決算見込)	会		0 1 -	一般会	:計						
事業費合計	63 千円		款	0 6 唐		産業費						
国庫支出金	千円		項	0 3 農		,						
県 支 出 金			目	0 7	 長村整	· 備事業費						
地方債	, , ,			0.0.5	- 典村	·整備事業						
その他特財		細		000) 辰 🗇	登佣事未 						
一般財源	63 千円											
【コスト推移】	平成28年度(決算見込)		7年度(決算	\		成26年度(決算)						
事業費合計		十月人		<i>)</i> 千円	7 /-	73 千円						
【総合評価】	00 114		1.4	. 1		10 111						
【班□□□□□□■	□拡充 ■維持 □縮/			<u>-</u>	泰 止	□休止 □完了						
総合評価						進するうえで十分な事業効						
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	本色のの くく ショ											

事	務	事	業	夕	農村整備事業に要する一般的経	部	局:	名	産業経済部
7,	1)/J	1 ,	~	名	費	課	(室)	名	農林水産課

【対象】

平成26年度
1 100 1 10

【事業実績】

活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度					
					_			_					
							-						
活	動指	桓											
分	動指析結	果											

成	果果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
1300	<i>></i> C	111	.101	^H	T 1.1.	1 /2/20 1 /2	1/1/2111/2	1 //200 1 /2	H W T Z	Н	.1/1/	112
												_
15												
成分	果 指析 結	標里										
//	レ1 小口											

事務事業名	老杓ため池寺整備	事業に安する		名	
	一般的経費		課(室)	名 農林水産	課
【基本情報】					
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して		
政策	0 1 農業・水産業を振	興する			
施策	01農業を振興する				
事業実施期間	~ 永	年			
事 業 区 分	①一般事務経費事業				
地 区 別	市内全域				
関連根拠法令等	土地改良法				
【事業概要】					
現状と課題	近年、集中豪雨や地震域住民の生命や財産、	等の災害により、 公共施設にも甚大	ため池なな被害な	が被災し、農 が頻発してい	用地だけでなく地る。
目的	老朽ため池等整備事業	を円滑に推進する	0		
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか					
対象	老朽ため池等整備事業				
※誰、何に対して					
事業内容	警戒ため池に対し、警 事業を県営事業、団体			進するため、	老朽ため池等整備
※目的達成のため					
の手段・手法					
【コスト】		【会計】			
	平成28年度(決算見込)		0 1 一角	公会計	
事業費合計	1,236 千円	款	06農村	木水産業費	
国庫支出金	千円	項	0 3農均	也費	
県 支 出 金	千円	目	03老村	万ため池等整	備事業費
源地方債	千円		0.0.=	W 45 2 3 3 1 44	**
その他特財	千円	細 目	U 0 5 ₹	ど朽ため池等	整備事業
一般 財源	1,236 千円				
【コスト推移】					_
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)		平成26年度(決	
事業費合計	1,236 千円	1, 278	千円	1, 08	80 千円
【総合評価】					
	□拡充 ■維持 □縮/		_		口完了
総 合 評 価	予算の適正な執行によ な事業効果をあげてい		整備事業	東を円滑に推	進するうえで十分
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価		- 0			

事	務	重	業	夕	老朽ため池等整備事業に要する	部	局	名	産業経済部
J	477	7'	$\overline{\mathcal{A}}$	7 µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

平成26年度
1 100 1 10

【事業実績】

	未大的	₹1						-
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
					_			_
							-	
活	動指	桓						
分	動指析結	果						

成	果果	- 指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
成分	果 指 括	標里											
<i>J</i> J 1	기 까다	*											

しろやま農業研修センター管理 |部 局 名 産業経済部 事務事業名 運営事業 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 本 基 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 昭和58年度 永年 事 分 ②施設維持補修事業 区 地 区 别 志方地区 加古川市立しろやま農業研修センターの設置及び管理に関する条例 関連根拠法令等 【事業概要】 施設利用者も時代とともに世代交代が生じ、高齢者の活動参加が減少してい る。 現状と課題 農業者その他地域住民の生活改善及び健康増進を図る。 的 目 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市民(主に志方東地区) 対 ※誰、何に対して 貸館業務を行う。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 06農林水産業費 事業費合計 7,055 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 02農業総務費 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 025しろやま農業研修センター管理 細 その他特財 1,178 千円 運営事業 訳 源 5,877 千円 般 財 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 7,055 千円 7,075 千円 7,113 千円 合 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 地域住民が会議やサークル活動などに利用されており、住民相互の交流や健康 総 合 評 価 増進、さらに農村機能の活性化等に効果がある。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

 事務事業名
 しろやま農業研修センター管理
 部局名産業経済部

 運営事業
 課(室)名農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

1/1	沙							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市目	Ę				人	266, 443	267, 434	267, 043

【事業実績】

↓ ∌	·耒夫商	₹ 』						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施記	设利用	者数			人	18, 613	21, 040	21, 884
		前	年度よ	こり着	約2, 5	00人減	•	
活	動指	標						
分:	動指析結	果						

	事業成果]										
成	果	指標	系 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	皿	標	値
施	設利用者	数		人	18, 613	21, 040	21, 884	平成32 年度		20,	000
								午及			
L											
-t	电性板	施設原	哥辺人	口減や、高	高齢化による利用 	目率の低下					
分	果指標析結果	見									

見土呂フルーツパーク管理運営 部 局 名 産業経済部 事務事業名 事業 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成11年度 永年 事 分 ②施設維持補修事業 区 地 区 别 市内全域 加古川市見土呂フルーツパークの設置及び管理に関する条例 関連根拠法令等 【事業概要】 都市部住民は自然とのふれあいや土いじりを通じた安心・安全な農業に対する 関心が高い。そのようなニーズに応えるべく、自然環境に恵まれた地域を有効 に活用し、果実の加工教室や玉ねぎ収穫祭等農業体験の場を提供している。※ 現状と課題 施設老朽化の対応が課題である。 都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。 的 目 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市民 対 ※誰、何に対して 農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供する。 事 業内容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 計 01一般会計 会 06農林水産業費 事業費合計 42,267 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 03農業振興費 千円 県 支 出 金 目 源 方 債 千円 地 内 015見土呂フルーツパーク管理運営 細 目 その他特財 647 千円 事業 訳 源 般 財 41,620 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 42,267 千円 51,140 千円 42,209 千円 合 【総合評価】 ■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 都市住民が、農村・農民との交流によって農業に対する興味や理解が深まるこ 総 合 評 価 とが期待され、自然と触れあい、農業と出会える数少ない施設である。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

事	務	事	業	名	見土呂フルーツパーク管理運営	部	局	名	産業経済部
7'	477	7'	*	~ µ	事業	課	(室)	名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市民	7				人	266, 443	267, 434	267, 043

【事業宝績】

	·耒夫稱	₹ 】							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施討	设利用	者数			人		117, 858	128, 215	121, 209
		天	候不順	頁に。	より、前	j年	医より10, 3	3 5 7 人減	
活!	動指	標							
分;	動指析結	果							

一人争え	 美风果】										
成	果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
施設	利用者	数		人	117, 858	128, 215	121, 209	平成32 年度		130,	000
								年度			
		ナルマ	一川石) テ	トフ	j			<u> </u>			
成果	! 指標	天候不	、順に	よる。							
分析	是指標 無										

事務事業名	土地改良施設維持補修事業	部 局 名 産業経済部					
The state of the state of		課(室)名 農林水産課					
【基本情報】	へ 4 17 ゼム いの中 本昔 さ 止て ナナ た み ギ	1 —					
基本目標							
政 策							
施策实施期間	7F 47 1						
事業実施期間	/4. 1						
	②施設維持補修事業 市内全域						
地 区 別	川内主域						
関連根拠法令等							
【事業概要】							
現状と課題	平成17年度から農道(赤線)、農業用 行うこととなり、施設の補修を行い、ま 料支給を行っているものである。	水路(青線)について市が維持管理をた補修内容によっては事業申請者に材					
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	土地改良施設の維持管理を行うことによ 安定を図り地域の環境整備を図る。	り、災害を未然に防止し、農家経営の					
対 象 ※誰、何に対して	市所有の農道、農業用水路等の土地改良	施設					
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	市所有の農道、農業用水路等の土地改良等)に対し、維持補修のための材料支給修することで、降雨時における五ケ井水浸水対策を行う。	を行う。また、神野ポンプ場を維持補					
【コスト】	【会計】						
	平成28年度(決算見込) 会 計	0 1一般会計					
事業費合計	8,446 千円 款	0 6 農林水産業費					
国庫支出金		03農地費					
県 支 出 金	千円	0 1 農地総務費					
地方債	千円	0 1 0 土地改良施設維持補修事業					
その他特財	十円	010工地以及地政權的冊廖事未					
一般財源	8,446 千円						
【コスト推移】	亚产99左库(油箅目)	亚中00年中(油幣)					
事業費合計	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) + 8,446 千円 5,260 千円 5,165 千円						
【総合評価】	8,446 千円 5,260 =	千円 5,165 千円					
【松石 計1曲】	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合	· □廢止 □休止 □空了					
総合評価	予算の適正な執行により、土地改良施設(
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	分な事業効果をあげている。						

事	務	事	業	名	土地改良施設維持補修事業	部	局	名	産業経済部
7	3))	7'	\wedge	^H		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

平成26年度
1 100 1 10

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

1

農村環境改善センター管理運営 部 局 名 産業経済部 事務事業名 事業 課(室)名農林水産課 【基本情報】 基 本 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成2年度 永年 ②施設維持補修事業 事 区 分 地 区 别 その他 加古川市立農村環境改善センターの設置及び管理に関する法律 関連根拠法令等 【事業概要】 特に農村住民のスポーツ及び文化活動等コミュニティ施設として活用されてい る。 現状と課題 農業者及び地域住民の生活改善及び健康増進を図る。 的 目 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市民(主に八幡町と上荘町の一部) 対 ※誰、何に対して 貸館業務を行う。 事 業内容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 06農林水産業費 事業費合計 5,537 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 02農業総務費 千円 県 支 出 金 目 源 方 債 千円 地 内 030農村環境改善センター管理運営 細 目 その他特財 1,273 千円 事業 訳 源 4,264 千円 般財 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 5,537 千円 5,591 千円 5,583 千円 合 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 地域に生活する人々の生活改善・合理化や健康増進の拠点となっている施設 総 合 評 価 で、地域農村コミュニティの形成を図るためにも必要な施設である。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

事	務	事	業	名		部	局 名	産業経済部
7	4),)	7'	\wedge	^H	事業	課	(室) 名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市民	13				人	266, 443	267, 434	267, 043

【事業宝績】

	・美夫術	Į,						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施討	设利用	者数			人	26, 384	28, 945	31, 755
		前	年度。	より着	約2,5	0 0 人減		
活	動指析結	標						
分;	析 結	果						

	『業成』	長】										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
施	設利用	者数			人	26, 384	28, 945	31, 755	平成32 年度		28,	000
									年度			
		施	設周辺	1人[口減や、高	高齢化による利用	月率の低下					
成分	果 指析 結	標果										
	기 개위											

事務事業名	加古川市農林漁業	祭事業	部 局 名 産業経済部
			課(室)名 農林水産課
【基本情報】			
基本目標			じて
政策	01農業・水産業を振	興する	
	01農業を振興する		
事業実施期間	昭和50年度 ~ 永	年	
事 業 区 分	⑤市施策事業 (経常)		
地 区 別	その他		
関連根拠法令等			
【事業概要】			
現状と課題	安価なものが手に入る	反面、安全性につ	各地のみならず外国産も多数流通し、 いて消費者は不安を抱えている。厳し 」から「安全性」へ少しずつ意識が変
目 的		の農畜水産物の普	及と地産地消等により消費拡大を図
※対象(誰・何)を	る。		
どのような状態にしたいのか			
	市内の農畜水産業者(加工者含む)及び	市民・都市住民
対象			
※誰、何に対して			
-t- Mr. I	○農作物品評会及び出 産物公開抽選会 ○農	品野菜即売会 C 業関係イベント及)農産加工品販売及びかこがわ産農畜水 なび体験会 ○地産地消メニュー提供の
事業内容	協賛飲食店によるPR		TO THORE OPERATION IN THE PROPERTY OF THE PROP
※目的達成のための手段・手法			
		[A = 1]	
【コスト】	亚内00万亩(沙发日江)	【会計】	0.1 原ル会会!.
本 	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計		款	0 6 農林水産業費
国庫支出金		項	01農業費
県 支 出 金		目	0 2 農業総務費
地方債の他特財		細 目	0 1 0 加古川市農林漁業祭事業
意 尺	千円	小山	
【コスト推移】	930 千円		
「二八十万田沙」	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計		1,000	
【総合評価】		_,	
Without the last lived \$	□拡充 ■維持 □縮/		合 □廃止 □休止 □完了
			農業関係イベントであり、歴史的にも
総合評価	定着しており市民の認	知度も高い。農業	者の切磋琢磨の機会となっているこ
※妥当性・有効性 ・効率性の視点	と、PR効果、郁巾任 ある。	氏とい父侃か保ま	っていることから、継続実施が妥当で
をもとに総合的に判断した評価			
. 1,3171 о тент пш			

事務事業名	加古川市農林漁業祭事業	部 局 名	産業経済部
于 切 于 木 仙		課(室)名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加さ	训市。	人口	(10	/	人	266, 443	267, 434	267, 043
1 作	推計	人口)						

【事業実績】

【事美	美実績	1									
活	動	指	標	名	単	位.	平成28年度	F	平成27年度	平成26	6年度
実施	行事	(事業)数		事業			58	39		36
集客	数				人		176, 0	00	82, 000	(65, 000
		_									
		集犯	客数が	が前年	年度より	9 4	, 000	人垟	 自加		
活動分析	 指 相	票									
, , ,											

	『業成』	₹】										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
集组	客数				人	176, 000	82, 000	65, 000	平成32 年度		100,	000
									牛皮			
Ш		_										
4-1	田 北		客数に	は、「	前年に比輔	交し94千人の地	曽となった。主な	な原因は主催事業	きの増加に	よる。		
分	果 指 結	保果										

事務事業名	加古川市農林行政:	事務事業	部 局 名 産業経済部					
1, 433 1, % vi			課(室)名	農林水産課				
【基本情報】								
基本目標	04にぎわいの中で暮ら	うせるまちをめざ	して					
政策	01農業・水産業を振り	興する						
施策		., -						
事業実施期間	7F (7) (F = 1,1 (7) (7)	E.						
事業区分		Г						
	市内全域							
	山111王敬							
関連根拠法令等	1							
【事業概要】								
現状と課題	食の洋食化、多様化等に拍車がかかる。そしか。 加。	こより米消費量の て後継者不足及び	減少が米値 農家の高齢	面の下落に連動し 冷化により耕作が	、農業離れ ע棄地が増			
目的	市から農家への連絡調整	整等を農業団体連	合会と連携	통して、市農林行				
※対象(誰・何)を どのような状態	推進を図る。							
にしたいのか								
	市内農業団体長151/	名及び全農家						
対象								
※誰、何に対して								
	必要書類の提出依頼と	回収業務等をはじ	め、計画的	りに事務を推進す	上る。			
事 業 内 容								
※目的達成のため の手段・手法								
0.5枚 5位								
【コスト】		【会計】						
	平成28年度(決算見込)	会計	0 1 一般会	計				
事業費合計	6,338 千円	款	06農林7	k產業費				
国庫支出金	: 千円	項	0 1 農業費	ŧ				
県支出金	: 千円	目	0 2 農業総	総務費				
地 方 債	千円		0 0 = ## 1	[6/2-21] - T 1 - T	4n.11.4 22 dh			
内その他特財	· 千円	細目	005農身	養行政に要する-	一般的経質			
一般 財源	6,338 千円							
【コスト推移】					_			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算) 平	成26年度(決算)				
事業費合計	6,338 千円	6, 459	千円	6,534 千日	马			
【総合評価】								
	□拡充 ■維持 □縮月	、 □改善 □統合	↑ □廃止	□休止 □完丁				
総合評価	行政と地域農業者を繋ぐ に担っているものと考;	ぐ事務事業であり える。今後とも必	、市内全島 要不可欠力	農家に対するパイ は事業と考える。	イプ役を十分			
※妥当性・有効性 ・効率性の視点				·				
をもとに総合的に判断した評価								
(二刊例) し/ご評価								
	1							

事務事業名	加古川市農林行政事務事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 和		課(室)名	農林水産課

【対象】

	~,,,,							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
農家	Ę				戸	6, 884	7, 041	7, 169

【事業宝績】

【事	業実績	į						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
農家	7戸数				戸	6, 884	7, 041	7, 169
水田	日面積				アール	204, 711. 8	212, 296	216, 113
		<u> </u>						
		全	ː国的(i積▲	こ減。 7-5	少傾向の7 84.2万	こめ【前年度比較 アール	交】農家戸数▲ 1	157戸、水田
活動	動 指 ;	標			3 II - 7	,		
<i>)</i>	VI NO 1							

【事業成果】

【事未以本】								
成果打	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
農家戸数			戸	6, 884	7, 041	7, 169	平成29 年度	6, 884
水田面積			アール	204, 711. 8	212, 296	216, 113	平成29 年度	204, 711. 8

成果指標分析結果

全国的に減少傾向のため【前年度比較】農家戸数▲157戸、水田面積▲7584.2アール

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉 環境保全型農業直接支援対策事 部 局 名 産業経済部 事務事業名 業 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成24年度 永年 ⑤市施策事業(経常) 事 分 業 区 地 区 别 市内全域 ●環境保全型農業直接支援対策補助金交付要綱●土づくり事業補助金交付要綱 関連根拠法令等 【事業概要】 化学肥料の5割低減を達成することで、安心安全な加古川産農作物というPR にもなり、一部の法人団体については減農薬農作物のブランド化にも取り組ん 現状と 課題 でおり、事業実施効果が見受けられる。 農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づく 的 目 り等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的 な農業の活性化を図る。 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市内農業者団体又は複数の農業者で構成される法人のうち、エコファーマーの 対 認定を受けている者。加えて、畜産農家のふん尿堆肥を地力増進のため使用す る集落営農組合等 ※誰、何に対して 化学肥料及び化学合成農薬の使用を、地域の慣行から原則として5割以上低減する活動と、カバークロップの作付けあるいは炭素貯留効果の高い堆肥の水質 事 業 内 容 保全に資する施用を組み合わせた取組を実施した事業対象者について、国1/ 県、市ともに1/4の補助率で補助金を交付する。加えて、畜産農家のふ ※目的達成のため の手段・手法 ん尿堆肥を利用する集落営農組合等に対して、一定金額を補助 【コスト】 【会計】 01一般会計 平成28年度(決算見込) 会 計 06農林水産業費 事業費合計 3,257 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 2,352 千円 03農業振興費 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 035環境保全型農業支援事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 905 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 3,257 千円 業費 合 計 1,844 千円 1,117 千円 【総合評価】

総合

評

※妥当性·有効性

・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価

侕

■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了

付単価の調整が見込まれるため、今後は事業実施の推進を慎重に行う。

事業対象者は増加傾向にあり、環境への負荷の低減について、また安心安全な

農作物の栽培について関心が高まっているものと考える。平成27年度から法 定化がなされた。しかし平成28年度から要望額が国予算額を上回っており交

事	務	事	業	夂	環境保全型農業直接支援対策事	部	局 名	産業経済部
7	477	ナ	*	泊		課	(室) 名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
事業対象面積					h a	55. 4	42	48

【事業実績】

【争 美夫 頼】											
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度			
事業	Ĕ対象i	面積			h a	55. 4	42	48			
		増	加傾向	可にる	あり、妥	当なものと考える	. 3.				
活!	動指	標									
分	動指析結	果									

【事業成果】

	10/90/10														
成	果	指	標	名	単	位	平成28年月	吏	平成27年度	平成20	6年度	目標年度	目	標	値
事業	対象面	ī積			h a		ha 5		42		48			Ę	55. 5
												平成32 年度			
		前	年 度分	かんし	上齢す	ースレ	・ 土づくり	推進	 生事業が減少傾!	<u> </u> 句にある	も のの	晋倍 促仝	·刑農署	と 直 お	至

成果指標分析結果

前年度から比較すると、土づくり推進事業が減少傾向にあるものの、環境保全型農業直接支援対策事業が増加しているため、事業推進が図られていると考える。

事務事業名	経営所得安定対策推進事業			産業経済部	
			課(室)名	農林水産課	
【基本情報】		212.6	1 —		
基本目標		をめさ	して		
	01農業・水産業を振興する				
	01農業を振興する				
	平成24年度 ~ 永年				
	⑤市施策事業(経常)				
地区別	その他				
関連根拠法令等	経営所得安定対策等推進事業実施	要綱			
【事業概要】					
現状と課題	平成29年度においては、経営所 の活動経費を同様の交付ルートに	得安定 より交	対策等(II 付すること	日農業者戸別所得補作 になっている。	賞制度)
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川市地域農業再生協議会が、で、市内農業者の農業経営の安定	経営所 化を図	得安定対策 る。	等の円滑な運営を 関	図ること
対 象 ※誰、何に対して	加古川市地域農業再生協議会				
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	加古川市地域農業再生協議会が経る経費の定額を補助する。	営所得	安定対策等	いい かいいい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	必要とな
【コスト】	【会計				
	平成28年度(決算見込) 会		0 1 一般会		
事業費合計	6,920 千円		06農林/	く 産業費	
国庫支出金	千円	頁	0 1 農業費	Ť	
県 支 出 金	6,920 千円	1	0 3 農業扱	長興費	
地方債	千円		0 1 0 終党	*************************************	丰 栄
その他特財	千円 細	目	0 1 0 准章	5月付女化刈水1世年	尹禾
一般財源	千円				
【コスト推移】					
	平成28年度(決算見込) 平成27年度	度 (決算)	平	成26年度(決算)	
事業費合計	6,920 千円	7, 417	千円	7,456 千円	
【総合評価】					
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善	□統合	` □廃止	□休止 □完了	
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	加古川市地域農業再生協議会の活制度を効率的に運用することがで で、農業経営の安定化に資してい	きてい	を交付する る。また、	ことで、経営所得5 この制度に加入する	安定対策 ること

事務事業名 経営所得安定対策推進事業 部局名産業経済部 課(室)名 農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

I V J	沙							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活重	加団体	数			団体	1	1	1

【事業実績】

	事業表紀	湏】								
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度		平成27年度	平成26年度
	古川市議会へ				F	円	6, 920, 000	0	7, 417, 000	7, 456, 000
活	動指	制	度には	おけん	る交	付申記	- 古川市地域農業 青受付事務、要 いるため適切な	任確	崔認事務、交付	営所得安定対策 対事務等を円滑 といえる。

【事業成果】

分析結果

成	果	指	標	名	単	位	平成28年	度	平成27年度	平成26年	年度	目標年度	目	標	値
交付	交付申請書提出件数 農業者へ国交付金等直				1	牛	2,	240	2, 383	2	2, 507	平成32 年度		2,	240
農業接支	者へ国 払額	国交付	金等面	直	F	Э	201, 563,	326	204, 427, 207	201, 394	4, 366	平成32 年度	201	, 563,	326

成果指標分析結果

当該補助金により加古川市地域農業再生協議会が経営所得安定対策制度の円滑な推進を通して、旧制度よりも当市における農業者の補助金受給額が増加していることから効果的な補助金であるといえる。

事務事業名	新規就農総合支援	事業	部 局 名 産業経済部
节 切 节 未 1			課(室)名 農林水産課
【基本情報】			
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振	興する	
施策	01農業を振興する		
事業実施期間	平成24年度 ~ 永幸	年	
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)		
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	新規就農・経営継承総	合支援事業実施要	網
【事業概要】			
現状と課題	一な 悪業の担い手の客	進行、農家数の減 成を図り、安定し	少傾向の中、新規就農を促進するこ た農業生産基盤を維持する必要があ
目 的	新規就農意欲の喚起と	就農後の定着を図	る。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
対象	45歳未満の新規就農	者	
※誰、何に対して			
事 業 内 容	経営の不安定な就農初 金を給付する。	期段階の青年就農	者に対して年間最大150万円の給
※目的達成のため の手段・手法			
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会 計	01一般会計
事業費合計	3,040 千円	款	06農林水産業費
国庫支出金	千円	項	01農業費
県 支 出 金	, , , , , ,	目	0 3農業振興費
地方債その他特財		細 目	0 1 2 新規就農総合支援事業
一般財源	千円		
【コスト推移】			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	
事業費合計	3,040 千円	3, 050	千円 6,070 千円
【総合評価】			
	□拡充 ■維持 □縮/	」 □改善 □統合	合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	持続可能な力強い農業 可欠である。本事業は	の実現、生産基盤、経営の不安定な	の維持のため、新規就農者の確保は就農初期段階の青年就農者に対して
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	援を行うもので、就農 策である。	意欲の喚起と就農	就農初期段階の青年就農者に対して 後の経営を安定させることに必要な

事務事業名	新規就農総合支援事業	部 局 名	産業経済部
事 伤 事 未 石		課(室)名	農林水産課

【対象】

八月三人							
対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
45歳未 者数	満の新	規就	治	人	5	1	9

【事業実績】

【争	莱美羅	Į						
活	動	指	標	名	単位	工 平成28年度	平成27年度	平成26年度
補助	力金交付	计対象	是者数		人	2	3	5
							<u> </u>	
			付要件のと考			者についての精力	査を行った結果~	であり、妥当な
活	動 指析 結	標	V) C 4	J /_ ′	<i>م</i> ₀			
分	竹 結	未						

【事業周	戊果 】								
成果	上 指	標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	票 値
新規就	農者数		人	7	1	12	平成32 年度		7
認定農	業者数		者	7	5	7	平成32 年度		7
成果		規就農者	及び認定劇	農業者数は増加し	、ており一定の _日	 成果を得ている。			

事務事業名	人・農地問題解決加速化支援事業 部 局 名 産業経済部 課(室) 名 農林水産課
【基本情報】	(主) 石 展州外庄城
基本目標	0.4にぎわいの中で暮らせるまちをめざして
政策	
施策	The state of the s
事業実施期間	
事業区分	
地 区 別	市内全域
関連根拠法令等	人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱
【事業概要】	
現状と課題	地域の農業の将来について、地域の農業者で話し合う契機となっている。関連した事業の推進と共に実施していく必要がある。
目的	持続可能な農業の実現を目指し、農業の競争力・体質強化を図る。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	
	地域で農業を営んでいる経営体(個人、法人、集落営農)
対象	
※誰、何に対して	
事業内容	「人・農地プラン」の作成、及び作成するための集落での話し合いを推進し、 中心経営体への農地集積等を支援する。
※目的達成のため の手段・手法	
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	74 千円 款 0 6 農林水産業費
財国庫支出金	千円 項 01農業費
県支出金	37 千円 0 3 農業振興費
源地方債	千円 一
その他特財	千円 細 目 0 1 1 人・農地問題解決加速化支援事 業
一般 財源	
【コスト推移】	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	74 千円 75 千円 82 千円
【総合評価】	
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
\$\\\ \	「人・農地プラン」を作成することは、地域の農業の課題を、地域で話し合っ
総合評価	て解決するために有効な手段であり、足腰の強い農業の育成に繋がると考え る。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	`♥°

事	務	事	業	名	人	農地問題解決加速化支援事	部	局 名	産業経済部
7	477	ナ	*	\L	業		課	(室) 名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
中心	ひとな	る経営	\$体		経営体	48	44	41

【事業実績】

【事業実績	漬】						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「人・農 成件数	地プラ	ラン」	作	件	0	2	5
活動指分析結	備	ランを進	は、ク	定期的に『 いる。	更新されており、	また新たな地区	区での策定の準

【									
成果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
「人・農地 成・変更件	プラン」	作	件	7	2	5	平成32 年度		7
八 多文件	奴						十/支		
	プランは定期的な更新が必要であり、今後農地中間管理事業等関連した事業を推進するに成果指標は、プラン作成が求められるため、さらなる推進が必要である。 分析結果								
成果指標分析結果	は、プ	フンイ	作成が求&	かられるため、 a	さらなる推進が』	公要である。			

事務事業名	水稲生産調整実施	事業	部 局 名 産業経済部						
			課(室)) 名 農林水産課					
【基本情報】	0.41-21.04-4	> 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	1						
基本目標			して						
政策	7F 43 4 1	興する							
	01農業を振興する								
事業実施期間		年							
事業区分									
地区別	市内全域								
関連根拠法令等	米改革基本要綱								
【事業概要】									
現 状 と 課 題	需給に応じた米の生産 で不作付地の増加が懸 することで、不作付地 ている。	調整の確保を図る 念されている。そ の発生防止及び食	一方で、 こで、 料自給 ³	、農業生産人口が高齢化する中 米を作付しない水田を有効利用 率の向上を図ることが求められ					
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか		麦・大豆等の作付		よる所得の確保を図り、米を作 することを通して地域の特色あ					
対 象 ※誰、何に対して	加古川市内の農業団体	0							
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	兵庫県より配分された に、麦・大豆等の作付 認に対する事務委託や	を奨励している。	事業をト	き、生産調整を実施するととも 円滑に実施するために、現地確 行う。					
【コスト】		【会計】							
	平成28年度(決算見込)	会計	01-						
事業費合計	9,149 千円	款	0 6 農	林水産業費					
国庫支出金	千円	項	0 1 農	業費					
県 支 出 金	539 千円	目	0 3 農	業振興費					
地方债	千円		0 0 7 -						
その他特財	千円	細目	007	小個生生調金天旭爭未					
一 一 般 財 源	8,610 千円								
【コスト推移】									
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)		平成26年度(決算)					
事業費合計	9,149 千円	9, 232	十円	9,431 千円					
【総合評価】									
	□拡充 ■維持 □縮/			-					
総合評価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	る必要性のある生産調	整を確保しつつ、 る産地形成、担い	農地の	視する一方で、現行では実行す 有効利用を通して麦・大豆等σ により持続ある農業経営を維持					

事務事業名	水稲生産調整実施事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 和		課(室)名	農林水産課

【対象】

1,.1	2,1							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動	加団体	数			団体	146	146	146
						I	Í	

【事業宝績】

事務委託料		只』						
事務委託料	活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
73.110 = 72.19.4 = 72.19.4 = 73.0 = 7	水稲生産事務委託	調整現 料	見地確	認	千円	2, 952	3, 021	3, 044, 700
					千円	4, 878	4, 857	5, 032, 100

活動指標分析結果

農業団体への現地確認事務委託及び水稲生産奨励補助金を通じて、 水稲生産調整と麦・大豆等の生産拡大、担い手の育成を図る資金と して適切な金額であるといえる。

【事業成果】

1. 76/4/42/6	_							
成果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標
生産調整達	達成 率		%	97. 2	97. 4	99. 8	平成32 年度	10
転作奨励面	ī積		アール	77, 000	77, 000	79, 000	平成32 年度	78, 00
								and the Market

成果指標分析結果

生産調整を毎年確実に実行し、米を作付しない農地を有効利用し、麦・大豆等の転作作物の 拡大等を図っているため、効果的であるといえる。

事務事業名	多面的機能支払事業	-	部 局 名 産業経済部 課 (室) 名 農林水産課								
【基本情報】			M. (1) A 10 (1) (1)								
基本目標	04にぎわいの中で暮らせる?	まちをめざし									
政策	01農業・水産業を振興する										
施策	01農業を振興する	1農業を振興する									
事業実施期間	平成19年度 ~ 平成26年度										
事 業 区 分	⑤市施策事業 (経常)										
地 区 別	市内全域										
関連根拠法令等	農地・水保全管理支払交付金を	交付要綱									
【事業概要】											
現状と課題	- の見けの住場機能の無比点	上の観点から	地周りの農業用排水路等施設の老朽化 5、より一層の地域主体による保全管								
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態	地域共同による農地・農業用産保全管理と農村環境の保全向	水等の資源の 上を図る。	の保全管理、また水路等農業用施設の								
とのような状態にしたいのか	市内の農業者、農業者以外(E 織	自治会・婦丿	【会・PTA等)の者を含めた活動組								
※誰、何に対して事業内容※目的達成のための手段・手法	農家、非農家共同で行う農地組む活動組織に対し、農振農原交付する。	農家、非農家共同で行う農地・水路等農業用施設の日常管理、長寿命化に取り組む活動組織に対し、農振農用地(田、畑)の面積に応じて活動支援交付金を交付する。									
		^ 1									
【コスト】	平成28年度(決算見込) 会	会計】 計 () 1一般会計								
事業費合計) 6 農林水産業費								
	千円) 3 農地費								
財農工工工) 7農村整備事業費								
地方債その他特財	千円 千円	Ε I)20多面的機能支払事業								
一般 財源	19,130 千円										
【コスト推移】											
	平成28年度(決算見込) 平成2	27年度(決算)	平成26年度(決算)								
事業費合計	78,013 千円	-円 19,448 千円									
【総合評価】											
	□拡充 ■維持 □縮小 □改	(善□統合	□廃止 □休止 □完了								
総合評価	その効果は大きいと考える。る	また、施設の	環境の改善、向上に取り組んでおり、 O老朽化による機能低下防止のためメ								
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	ンテナンスを行っており、農業	業基盤の安気	Eが図れる。								

事務事業名	多面的機能支払事業	部 局 名	産業経済部
争 切 争 未 和		課(室)名	農林水産課

【対象】

7.3.23	• 4						
対	象 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
農振剧	農用地内2	集落		地区	49	48	48

【重業宝績】

【									
活 動	指	票 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度			
共同活動対積	象農用	地面	h a	1, 136. 9	1, 110. 63	1, 018. 4			
向上活動対 積	象農用	地面	h a	570. 4	570. 41	570. 9			
活動指標分析結果	増と	度と比較なってい	較し、活動 いる。	か団体が1地区0	D増により面積 2	23.9ha0			

[₹業成身	具】									
成	果	指	標を	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
農交活	地・水 付金交 動)	保全管 付件数	理支払 (共同	地区	49	48	48	平成29 年度			49
農交活	付金交	保全管 付件数	理支払 (向上	地区	29	29	29	平成29 年度			29
成分	果指析結		年度と比	較し、15	地区の増となっ、	ている。					

事務事業名	畜産振興事業		部局名	A 産業経済部
4 0% 1. M			課(室)名	a 農林水産課
【基本情報】				
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	じて	
政策	01農業・水産業を振り	興する		
施策	01農業を振興する			
事業実施期間	平成15年度 ~ 永年	年		
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)			
地 区 別	市内全域			
関連根拠法令等				
【事業概要】				
現 状 と 課 題	認知度も高まってきてレ	いる。近年は加古	川食肉セ	庫県内において加古川和牛の ンターで処理した牛肉の海外 い兆しが見えてきている。
目 的	畜産農家が安心して畜 い、畜産農家戸数及び	産業を営み、また 飼養家畜頭数の維	畜産業が 持・拡大	活気付くための取り組みを行 を図る。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか				
対象	市内畜産農家			
※誰、何に対して				
本	○加古川市食肉公社に	おける共励会の開	【催○加古》	川和牛流通推進協議会負担金
事業内容				
※目的達成のための手段・手法				
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)	会計	0 1 一般	스타
事業費合計	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	云 · 司	0 6 農林	
国庫支出会		項	0 2 畜産	
見 支 出 金			01畜産	
源地方債		目	U I 🖽 🚐	未]
内その他特財		細 目	005畜	産振興事業
歌 一般 財源		***		
【コスト推移】	000 114			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	<u> </u>	区成26年度(決算)
事業費合計		422		413 千円
【総合評価】	ı			
A 7 = 1 + 1 + 1	□拡充 ■維持 □縮月	、 □改善 □統合	↑ □廃止	□休止 □完了
,	共励会の開催及び地域に	ブランドの確立は	生産意欲は	につながっていると考える
総合評価	が、依然畜産業を取り着を考える必要がある。	巻く環境は厳しい	ものがあ	り、今後もより効果的な方法
※妥当性・有効性・効率性の視点	を与える必安がめる。			
をもとに総合的 に判断した評価				

事務事業名	部后	引 名	産業経済部
事 伤 事 未 石	課(室	图) 名	農林水産課

【対象】

1/1/2	,						
対	象 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市内	畜産農家			戸	20	20	22

【事業宝績】

【事未入	小只 』							
活 動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市開催回数)共励	会	口		1	1	1
加古川和議会負担	口牛流通 旦金額	通推進	協	円		200, 000	200, 000	200, 000
	#	品스-	ベルナ	玄莊典5	<i>≓</i> 0)	D向上を将品す	スレレむに 膳

活動指標分析結果

共励会では畜産農家の生産技術水準の向上を奨励するとともに、購買者への広報の場となっている。加古川和牛流通推進協議会においては、各種イベントで加古川和牛の宣伝に努めている。

【事業成果】

成果	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
畜産農家戸	数		Щ	20	20	22	平成32 年度		20
市内加古川盟店舗数	和牛取扱力	Д	店	16	15	15	平成32 年度		16

高産業を取り巻く環境は飼料価格の高騰等、厳しいものとなっている。加古川市内の農家戸成果指標数及び各農家の飼養頭数についても減少傾向にあるが、畜産業が活気づくための取組を行う分析結果必要がある。

事務事業名	農凞耒制度貧筮利于補給事業	部 局 名 座 美 栓 済 部
1 1/3 1 //C II		課(室)名農林水産課
【基本情報】		
基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざ	して
政策		
施策	W . W	
事業実施期間		
事業区分	0 1 //2/14 //4 (/24/17)	
地区別	市内全域	
関連根拠法令等	加古川市農漁業制度資金利子補給交付要 補助金交付要綱	綱。兵庫県農業基盤強化資金利子補給
【事業概要】		
現状と課題	経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農造の基盤づくりが求められている。	業者の育成による、足腰の強い産業構
目的	制度資金の利用促進を通して、農家の資	本装備の高度化と生産性の高い農家の
※対象(誰・何)を	育成を図る。	
どのような状態にしたいのか		
	農漁業制度資金を借り入れた農家	
対 象		
※誰、何に対して		
	農漁業制度資金の利子補給	
事 業 内 容		
※目的達成のため		
の手段・手法		
【コスト】	【会計】	
		0 1一般会計
事業費合計		06農林水産業費
国庫支出金		0 1 農業費
財界支出金	20 ≰∏	02農業総務費
源地方債		
内その他特財		0 1 5 農漁業制度資金利子補給事業
訳	111	
【 [™] 一 般 財 源 【コスト推移】	39 千円	
コスト推移	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		
	11	197 1
【総合評価】	□拉去 ■维性 □旋止 □北羊 □佐△	
		▶ □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	制度資金利用者の利子負担の軽減により、寄与しており、制度資金の促進にも繋が	、
※妥当性·有効性	同で利子補給する制度であり、維持が妥	当である。
・効率性の視点をもとに総合的		
に判断した評価		

農漁業制度資金利子補給事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 課(室)名農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28	年度	平成2	7年度	平成26	年度
農家む)	(認)	定農業	(者含			戸		30		33		30

【事業宝績】

<u></u> []	手来夫的	Į J							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
利-	子補給	者数			件		3	6	7
		市	交付要	更綱に	こ基づい	ハた	と数値である。	•	
活	動指	標							
分	動指析結	果							

	・耒风ラ	下】													
成	果	指	標	名	単	位	平成28年度		平成27年度	平成26	6年度	目標年度	皿	標	値
利繋の害	ぶって	が経営いると	ま安定に 思う。	こ人	%		10	00	100		100	平成28 年度			100
農業る人	養経営 人の割	を継続 合	してい	()	%)	10	00	100		100	平成28 年度			100
		意	欲的な	農	業者の	負担	旦を軽減させ.	るこ	とは、安定した	た農業経営	営の確立	なにつなが	る。		

加百川川事物事	・		1
事務事業名	農地集積協力金交	付事業	部 局 名 産業経済部
			課(室)名 農林水産課
【基本情報】		S	
基本目標	.)		して
政策	01農業・水産業を振り	興する	
施策	01農業を振興する		
事業実施期間	平成26年度 ~ 永年	丰	
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)		
地 区 別	その他		
関連根拠法令等	農地集積・集約化対策	事業実施要綱、農	地集積協力金交付要綱
【事業概要】			
現 状 と 課 題		が耕作する現状は	解消されていないと思われる。
目的	担い手への農地の集積	集約化を促進す	- -る。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
対象	経営転換を図る農地所を 作者・地域内の一定割	ー 有者・連反化集積 会以上の農地を集	に協力しようとする農地所有者及び
※誰、何に対して			(1月) · 5 · 2· 1· 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 · 5 ·
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	農地中間管理機構を利力で、機構に対し農地を 協力金を交付する。	用した農地の担い 貸し付けた個人及	・手への農地集積・集約化の推進につ で地域への支援を図るために農地集
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計		款	06農林水産業費
国庫支出金		項	01農業費
財		<u> </u>	03農業振興費
源基地金	千円	目	0 3 辰未派與貧
地方債その他特財		細 目	0 4 0 農地集積協力金交付事業
一般 財源	千円		
【コスト推移】			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	498 千円	107, 483	千円 75,211 千円
【総合評価】			
	□拡充 ■維持 □縮小	、 □改善 □統合	合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価			きを行い、人・農地プランの策定と併
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価			

農地集積協力金交付事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 課(室)名農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

7.3.23	` 4						
対	象 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
集積層	農地面積			m 2	20, 627	1, 447, 000	136, 757

【重業宝績】

【 事業美額】							
活 動	指	標	名追	单 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地域集積協額	力金多	文付金		円	222, 425	28, 084, 800	0
経営転換協額	力金多	交付金	-	円	200, 000	72, 300, 000	16, 200, 000
耕作者集積金額	協力会	金交付	•	円	65, 000	7, 088, 000	34, 000
活動指標分析結果	∥額と	え26年 なっこ	年度たが	からの、要望	事業であり、平原のある地区を中心	・ 成28年度は県の 心に事業を実施し	の交付単価が減した。

【事業成果】

	\mathcal{L}_{PN}	~ 4											
成	果	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	田	標	値
集和	漬農地	面積			m 2	2	20, 627	1, 447, 000	136, 757	平成32		37,	000
//	<i>////</i>						,,	_,,	,	平成32 年度		,	
						-							
		亚	成 2 6	3年月	きから.	の車	業であるが ゴ	乙成98年度け		* 枚ルトた	- レI	z F h	
		1 4	カムとし) 干/	ラルり	ひノ事	未じめるか、当	- 70X 乙 〇 平尺 (より	さい父刊 奉华か頂	タイイ合イド。し/ご	- 21	により	

成果指標担い手への農地集積が停滞した。 分析結果

事務事業名	未利用農地等活性	:化対策事業	部 局 名 産業経済部
), 437 J. X. 14			課(室)名 農林水産課
【基本情報】			
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振	興する	
施策			
事業実施期間			
事業区分		· I	
	市内全域		
	11171主线		
関連根拠法令等			
【事業概要】	<u> </u>		
現状と課題	リカン チ 曲 ルフドル マムレー	渚不足は年々深刻 を失い、周辺環境	なものとなり、耕作者不足により遊休 に悪影響を及ぼす恐れがある。
目 的 ※対象(誰・何)を	市内の遊休農地を積極解決を図り、地域農業	的に活用し、農地 の活性化と発展を	の保全や農業後継者の育成などの課題 目指す。
どのような状態 にしたいのか			
	市内の遊休農地		
対象			
※誰、何に対して			
事業内容	のPRを進めている。	また 市内の音欲	付けや加工等を試み、加古川産農産物ある農業者を育成するための「かこが
※目的達成のため	■わ肎晨塾」の塾生を募 ■を提供するため農地情	集し、修丁有や新 報バンクを設置し	規就農者等の担い手へ遊休農地の情報ている。さらに、都市部近郊の遊休農
の手段・手法	地を「市民農園」とし	て、農作物栽培を	希望する市民の利用を促進している。
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計		款	06農林水産業費
国庫支出金		項	01農業費
財 ————		- 現	03農業振興費
源集支出金		目	○○辰未派代頁
地方債の他特別		細 目	025未利用農地等活性化対策事業
訳	1 1 1	小川 口	
【コスト推移】	13,214 千円	-	
コクト推移	亚比00年度(海營月71)	亚比07年底(油質) 正内oc左连 (油煙)
事業費合計	平成28年度(決算見込) 13,214 千円	平成27年度(決算	
	15, 214	15,000	13,000
【総合評価】	□拡充 ■維持 □縮/	1. 口과羊 口纮/	
			> □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	■ 利 祝 祝 辰 有 の 月 成 で 辰 ■ 発 な ど を 通 し て 、 遊 休	行来の部分支託に :農地の解消や意欲	よる農家への支援、新規栽培作物の開 ある農業者の育成などの課題解決を図
※妥当性·有効性	┃り、地域農業の活性化	た発展を目指すこ	とを目的とした事業であり、今後も必
・効率性の視点をもとに総合的	要不可欠な事業である	0	
に判断した評価			
	1		

 事務事業名
 未利用農地等活性化対策事業
 部局名 産業経済部

 課(室)名
 農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

17.								
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対象	象農地	面積			h a	11	11	11

【事業実績】

【事未天	/快』							
活 動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
かこがわ	育農塾	修了	者	人		0	2	2
市民農園	管理数	Ţ		件		15	14	13
農地情報	バンク	2登録	数	件		4	0	0
	٧١	ずれで	<u></u> },−;	定の水	準で	で推移しており、	妥当なものと	考える。市民農

活動指標分析結果

いずれも一定の水準で推移しており、妥当なものと考える。市民農園開設については、開設費用に対して賃料が低く利益が出ないため、農地所有者が開設に踏み切れないという課題がある。

【事業成果】

		\ <u>\</u>										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
遊	休農地	解消证	頑積		h a	2. 5	3. 5	2. 9	平成32 年度			3
									年度			
		1	(市:) - 1	- 10 -	アはありめ	みぶも フょ のの	ウェル滩ナル	##:1 ~ 4>10 5	シルチェの	1 +7. 5.	. 7	

年度により面積の増減があるものの、一定の水準を維持しており、妥当なものと考える。

成果指標分析結果

事務事業名	有害鳥獣等対策事業	ŧ	部 局 名 産業経済部
Ŧ W Ŧ 木 和			課(室)名農林水産課
【基本情報】			
基本目標	04にぎわいの中で暮ら	せるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振興	する	
施策		<u>, </u>	
事業実施期間			
事業区分			
	市内全域		
	川北江王城		
関連根拠法令等			
【事業概要】			
現状と課題	▮ 夬 去 宇 自 趾 (→)っ ノ) ゝ ノ	シ)の増加に伴	悪影響をもたらす外来生物の増加、まい、農業者の生産意欲の低下や地域のいる。
目的	○農作物に被害を与える	特定外来生物、	有害鳥獣を捕獲し生息数を減少させる 、同時に動植物の生息環境の保全を図
, ,		欲の低下を防き	、同時に動植物の生息環境の保全を図
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	ప .		
対象	○市民、主に市内農業者	(有害鳥獣等捕	護業務)
※誰、何に対して			
	 ○有害鳥獣捕獲業務を地	- 猫 左合に 禾紅	(右宝良齡笠埔獾娄茲)
事業内容	○竹百局部開授未物を地	九州久云に安山	(任音局訊守抽度未物)
※目的達成のため の手段・手法			
		I △ ⇒I I	
【コスト】	平成28年度(決算見込)	【会計】 会 計	0 1 一般会計
声 ₩ 曲 ∧ ⇒ 1			
事業費合計	· ·	款	0.6農林水産業費
国庫支出金		項	01農業費
源基立出金		目	0 3 農業振興費
地方債		/m = =	005農業振興事業
その他特財		細目	000股本版於手术
一般財源	3,883 千円		
【コスト推移】			
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	
事業費合計	4,103 千円	4, 103	千円 千円
【総合評価】			
	■拡充 □維持 □縮小	□改善□統合	合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	継続して行う必要がある。		るので、地元猟友会による捕獲活動を 業者自身による捕獲活動を円滑に実施
※妥当性·有効性	する必要がある。		
・効率性の視点をもとに総合的			
に判断した評価			

事務事業名 有害鳥獣等対策事	業 部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 4	課(室)名	は 農林水産課

【対象】

1/13	2N							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
農家	7世帯	数			世帯	7, 024	7, 104	

【事業宝績】

【尹禾大将	Ħ.							
活 動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
捕獲頭数物)	(特定	三外来	生	頭		614	540	
捕獲頭数	(イ)	アシシ)	頭		120	131	
活動指分析結	標 捕	料もは	曽額責に。	し、捕獲 よって	隻舅	射獲頭数が増加値 差務の拡大を行っ E料の増減が生し	っている。委託	料に関しては、

【事業成果】

成果	指	標名	単	位	平成28年度	平成27年	度	平成26年度	目標年度	目	票 値
鳥獣被害			件	144		145	1,000	平成32年度	H	150	

特定外来生物(アライグマ、ヌートリア)の捕獲頭数は増加傾向にある。捕獲頭数について成果指標は捕獲従事者数や環境の変化によって増減が生じるが、わなの数の増加に伴う捕獲数の増加分析結果を見込み、業務委託を続けることが、妥当であると考える。

遊休農地解消支援補助事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 0.4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成16年度 永年 ⑤市施策事業 (経常) 事 分 区 别 市内全域 地 区 関連根拠法令等 【事業概要】 本市農業は、全国的な傾向と同様に、農業者の高齢化・後継者不足に直面して おり、耕作者不足による農地の遊休化が懸念されている。 課題 現状と 遊休農地の解消・防止を行うことで、農地の生産能力を維持し、良好な農村環 目 的 境の形成を図る。 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図るための活動を行う市内の農業 対 団体と集落営農組織。 ※誰、何に対して 農業団体等が景観形成作物(コスモス・そば等)や緑肥作物(れんげ等)を栽 培するにあたり、種子代等の栽培に係る費用の一部を補助する。また、既に発 事 業 内 容 生した遊休農地の解消を促進するため、耕作可能な農地状態への復元整備活動 に係る費用の一部を補助する。 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 01一般会計 平成28年度(決算見込) 会 計 06農林水産業費 事業費合計 2,442 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 03農業振興費 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 005農業振興事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 2,442 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業費 合 計 2,442 千円 2,734 千円 2,710 千円 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 今後、農業者の高齢化・後継者不足に拍車がかかり、農地の遊休化が今以上に 総 進むことが予想される中、市内の農業団体と集落営農組織が、自主的に地域のまとまりをもって農地の遊休化の未然防止や遊休農地の解消を図ることで、良 合 評 価 ※妥当性·有効性 好な農村環境の維持が期待できる。また、生産者と消費者の交流を深めるなど の取組みも行われており、地域農業について一般の市民が興味を持つきっかけ ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価 作りにも貢献している。

事務事業名	遊休農地解消支援補助事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 有		課(室)名	農林水産課

【対象】

1/1	2N							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動	加団体	数			団体	69	70	69
1								

【事業宝績】

【争	来夫術	貝】							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活重	か団体・	への補	助金	額	円		2, 441, 900	2, 734, 000	2, 710, 000
		補	助金智	領は作	作物の	種子	子代の高騰などだ	があった場合に	は、年度ごとの
活!	動指析結	見 標	旦し7	い不言	要であ	る。			
分;	析 結	果							

【事業成果】

[甲术队本]												
成果	指標	名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値				
遊休農地解 止面積	消・発生防	h a	161	196	176	平成32 年度		161				
成里指標	面積は年月	ほごとの作(寸計画等により変	変動するが、一気	定の水準を維持し	しており、	妥当なもの	のと				

成果指標分析結果

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉 安全安心ため池づくり事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 課(室)名農林水産課 【基本情報】 基 本 目 標 0.4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成24年度 永年 ⑥市施策事業 (臨時) 事 分 区 地 区 别 市内全域 農村地域防災減災事業実施要綱、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会規約 関連根拠法令等 【事業概要】 近年は東日本大震災や台風による集中豪雨が発生するなど、甚大な自然災害が 多発化しており、ため池の防災安全度を劣化させる危険性がある。 現状と課題 ため池に起因する災害の発生を未然に防止する。また、防災・減災の視点に立 的 目 ち、地域住民全体が安全で安心して見守り、関わることができる体制を構築す る。 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか 特定ため池(農業用ため池で受益面積0.5ha以上)を対象とした定期点 検、一斉点検、耐震診断及びハザードマップ作成業務を実施する。市内対象た 対 象 め池は254箇所。負担金については、加古川市ため池協議会27協議会。 ※誰、何に対して 現地調査により耐震性に係る危険度の総合判定を行う。安全安心なため池づくりを県及び3市2町で連携し、ため池協議会を通じて実施する。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 計 01一般会計 会 06農林水産業費 事業費合計 20,375 千円 款 国庫支出金 0 3 農地費 千円 項 財 03老朽ため池等整備事業費 県 支 出 金 18,475 千円 目 源 債 方 千円 地 内 015安全安心ため池づくり事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 1,900 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 合 計 20,375 千円 20,281 千円 3,250 千円 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 当事業は、県及び3市2町で地域住民のコミュニティー形成の向上に取り組ん 評 総 合 価 でおり、その効果は大きいと考える。また、ため池耐震診断・ハザードマップ作成業務、ため池一斉点検業務では、ため池に起因する災害の未然防止、減災 ※妥当性·有効性 対策に役割を果たしている。 ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価

事務事業名安全安心ため池づくり事業部局名 産業経済部
課(室)名 農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

17.3	≈ ∧.							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ため	5池				箇所	4	49	50
加さ	引川市	ため池	協議	会	協議会	27	26	23

【事業実績】

「ザ木フ	大/ [4]											
活 動	h ‡	ÚH H	標	名	単	位	平成	28年度		平成27年度	<u>7</u>	平成26年度
イベン	イベント活動				ā	弋		1	1	1		1
耐震診	断				Ī	弋]	1	1		0
定期点	定期点検箇所							()	0		0
定期点検については、ため池施設の健全度の判定を実施し、保全 画をため池管理者が作成する。耐電診断業務については、ため池											し、保全計	

活動指標分析結果

定期点検については、ため池施設の健全度の判定を実施し、保全計画をため池管理者が作成する。耐震診断業務については、ため池が地震に対して破堤しないか診断すると共にソフト対策としてハザードマップを作成するものである。加古川市ため池協議会の27協議会に対しイベント活動支援を行う。

【事業成果】

成果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	[値
事業進捗率			%	100	100	100	平成32 年度		100
イベント活	動支援		式	1	1	1	平成32 年度		1

成果指標分析結果

定期点検については、5年毎に実施する。耐震診断業務については、規模の大きなため池に ついて今後も実施する。また、イベント活動については前年度並みの実績となっている。

事務事業名	学校給食地産地消推進事業	部 局 名 産業経済部
, ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		課(室)名農林水産課
【基本情報】		
基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振興する	
施 策	01農業を振興する	
事業実施期間	平成28年度 ~ 平成28年度	
事 業 区 分	⑥市施策事業(臨時)	
地 区 別	市内全域	
関連根拠法令等		
【事業概要】		
現状と課題	兵庫県内において加古川和牛の認知度も は低い。	高まってきているが、まだまだ認知度
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態	市内の児童・生徒に加古川和牛に親しん とを通じて、地元産和牛の消費拡大が図	でもらい、豊かな食生活を形成するこられることを目的とする。
にしたいのか		
対象	加古川市内の児童・生徒及び学校給食会	
※誰、何に対して		
事 業 内 容	学校給食会に対して、加古川和牛と通常 払うことで、市内の児童・生徒に加古川	仕入れる和牛の差額を負担金として支 和牛に親しんでもらう。
※目的達成のため の手段・手法		
【コスト】	<u> </u> 【会計】	
		01一般会計
事業費合計		06農林水産業費
国庫支出会	,	01農業費
財界支出金	, in	0 3 農業振興費
源地方債	· · · ·	
内その他特財		045かこがわ食材学習支援事業
訳 一般 財源		
【コスト推移】	1,002 11	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	3,124 千円	千円 千円
【総合評価】		
	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合	合 □廃止 □休止 ■完了
総合評価	加古川和牛ブランドの確立は生産意欲に 巻く環境は厳しいものがあり、今後もよ	
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価		

重	淼	重	丵	夕	学校給食地産地消推進事業	部	局	名	産業経済部
7'	427	7'	π	~ µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
学校	交給食	を喫食	としてい	7	人	15, 280		
るゲ	是童生行	走数						
i								

【事業実績】

	長夫領						
活	動指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
	給食地産 負担金	地消推	進	円	3, 123, 079		
活動分析	Į į	しするも	50	であり、ゞ	る加古川和牛の信 ア成28年度はこ た。児童・生徒な ものであり妥当と	3 8 2 kg分の差額	須(7,570

<u></u> 【手	業成り	長】											
成	果	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
加食	5川和 是供数	牛を用	りいた糸	合	食		15, 280			平成28 年度		15,	280
			成28	年月	度は学	校絲	合食を喫食してV	 \る全児童生徒を	 と対象に事業を3	上施できた	0		
成分	果指析結	標果											

農業経営法人化等支援事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 本 基 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成28年度 平成28年度 ⑥市施策事業(臨時) 事 分 区 地 区 别 市内全域 農業経営力向上支援事業実施要綱、農業経営法人化等支援事業補助金交付要綱 関連根拠法令等 【事業概要】 -部組織において、法人化が進んでいる。 現状と課題 農業経営に関する諸課題に対応し、農業者の更なる経営力向上を支援する。 目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市内農業者組織のうち、当該年度に法人化する経営体または組織化した団体 対 象 ※誰、何に対して 地域の中心となる経営体を育成・確保するため、農業経営の法人化や集落営農 の組織化に対して一定金額を補助する。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 06農林水産業費 事業費合計 400 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 03農業振興費 400 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 055農業経営力向上支援事業 細 その他特財 千円 訳 源 千円 般 財 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成26年度(決算) 平成27年度(決算) 事 千円 業費 計 400 千円 400 千円 合 【総合評価】 ■完了 □拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 農業者の更なる経営力向上を支援した。 総 合 評 価 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

重	淼	車	丵	夕	農業経営法人化等支援事業	部	局	名	産業経済部
7'	4),)	7'	\wedge	~µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

17.3	>,\							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
事業	美対象	者数			件	1		

【事業実績】

<u>【</u>	業美術	頁】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
補具	助金交位	付額			円	400, 000		
		平	成28	3年	度は要望の	りあった経営体を	を対象に事業を気	実施した。
活分	動指析結	標						
分	析 結	果						

1 =	·耒风	₹】										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
法丿	化し	た経営	体数		件	1			平成28 年度			1
									年度			
		平	成28	年月	・ 度は1経常	上 営体が法人化した						
成	果 指析 結	標	,		- / _ /							
分	竹結	朱										

放棄田等利活用モデル事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 0.4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成28年度 平成32年度 事 分 ⑥市施策事業(臨時) 区 地 区 别 志方地区 地方創生加速化交付金制度要綱、放棄田等利活用モデル事業補助金交付要綱 関連根拠法令等 【事業概要】 高齢化・後継者不足は年々深刻なものとなり、管理不十分な空き家や耕作放棄 地が増加している。 現状と課題 放棄田等の低・未利用農地を活用し、農業に従事するものや農業に対する理解 的 目 者を増加させ、新しい人の流れをつくる。 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 農事組合法人志方東営農組合 対 象 ※誰、何に対して 人口減少・高齢化が加速する本市北部地域において、農事組合志方東営農組合が実施する耕作放棄田等の低・未利用農地を活用したモデル事業を支援する。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 計 01一般会計 会 06農林水産業費 事業費合計 13,156 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 13,156 千円 項 財 03農業振興費 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 050放棄田等利活用モデル事業 細 その他特財 千円 訳 源 千円 般 財 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 13,156 千円 千円 千円 合 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 人口減少・高齢化が加速する本市北部地域において、耕作放棄田等の低・未利 評 総 合 価 用農地を活用したモデル事業であり、農業に従事する者や農業に対する理解者 を増加させて新しい人の流れをつくるために今後も推進する。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価

重	淼	重	丵	夕	放棄田等利活用モデル事業	部	局	名	産業経済部
4,	1)/J	71	X	~H		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

\ \^;								
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
綿ノ	人登録	者数			人	0		

【事業実績】

	术大小	~ 1								
活	動	指	標	名	単位	上	平成28年度		平成27年度	平成26年度
綿	人登録	者数			人			0		
		_								
活公	動指析結	の	住民る	との	交流イベ	事業ント	であり、計の開催等に	当該こし	亥地域の住民と他 にり綿人づくりの	也地域・他市町 つための準備を

【事	₿業成界	₹】										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
移位	住者数				人	0			平成32 年度			10
成分	果指析結		成28	年月	度からの『	- 事業であり、他均	地域からの定住の	足進のため準備を	を進めてい	る。		

事務事業名	ため池雨水貯留機能问上事業	部 局 名 座 美 栓 済 部
· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		課(室)名 農林水産課
【基本情報】		
基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざ	して
政策		
施策		
事業実施期間		
事業区分		
	市内全域	
関連根拠法令等		
【事業概要】		
現状と課題	近年は台風による集中豪雨が発生するなり、総合治水対策として、ため池に雨水水路や河川への負担を軽減させることが	を一時的に「ためる」取組みで下流の
目的	総合治水対策として、ため池の雨水貯留	機能を高めるため、洪水吐越流部の切
※対象(誰・何)を	欠き等を実施する。	
どのような状態 にしたいのか		
対象	市内ため池	
※誰、何に対して		
ARCHICA C		
	 ため池管理者へ事業可能なため池につい	て調本】 計画的に事業実施する
事業内容	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	で 一直 の
※目的達成のため		
の手段・手法		
【コスト】	L	
		01一般会計
事業費合計		06農林水産業費
国庫支出金	,	0 3 農地費
財場支出金	2 000 7 11	03老朽ため池等整備事業費
源地方債	H	Transcoried of Education
その他特財		020ため池雨水貯留機能向上事業
訳 一般 財源	1113	
【コスト推移】	1.1.4	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計		
【総合評価】		
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合	↑ □廃止 □休止 □完了
40\ A == /-	ため池に軽微な改修を施すことで雨水貯	
総合評価	対策に役割を果たしている。	
※妥当性・有効性 ・効率性の視点		
をもとに総合的に判断した評価		
. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		

事	務	事	業	夕	ため池雨水貯留機能向上事業	部	局:	名	産業経済部
7'	3))	7'	\wedge	~µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

1,.1	>/\							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
ため	池				箇所	7	6	
I								

【事業実績】

	事業実績	į						
活	動	指	標	名	単 位	立 平成28年度	平成27年度	平成26年度
たと	め池数				池	7	6	
		平	成2	7年月	度は6池	、平成28年度/ 事を予定している。	は7池の工事を第	実施した。 平成
活	動指統	標	94	支は、	4 他の上	争を予定してい	ට .	
分	析 結	果						

【于	耒 风未】									
成	果 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
ため	池工事筐	所		池	7	6		平成28 年度		17
								年度		
		計画どお	さりえ	生捗が図り	られている。			<u> </u>		
成身	果指標所結果									
分划	斤 結 果									

74 H 7 H 10 4 37 4	* 未評価ンート(平成。		the MV for the lan
事務事業名	永室地区中の池整	経備事業	部 局 名 産業経済部
			課(室)名 農林水産課
【基本情報】			
基本目標	04にぎわいの中で暮	いらせるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振	長興する	
施策	01農業を振興する		
事業実施期間	平成27年度 ~ 平	成32年度	
事 業 区 分	⑦投資事業		
地 区 別	志方地区		
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業	美施要綱、土地改	良法第91条第6項(市町負担)
【事業概要】			
現状と課題	△休し1 イの団巛党△	√で危険な状態であ ≿度の向上を図る必	るため、早期に工事を完成させ、地域 要がある。
目的	改修することにより、	災害を未然に防止	し農業経営の安定を図る。
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか			
h.l. 27.	志方町永室受益者14	0名、受益面積3	0 h a
対 象			
※誰、何に対して			
事業内容	志方町永室地区の老杯体は前刃金工法で改修	がため池(中の池) をし、前法面に制波	に対し、県営事業で堤体工を行う。堤 ブロックまた取水施設、洪水吐を改修
	する。		
※目的達成のため の手段・手法			
		[<u>A</u> =1.]	
【コスト】	亚尺00左座(汝符月31)	【会計】	0.1 . 加入型
± 44 ± 1 1	平成28年度(決算見込)		01一般会計
事業費合計	,	款	06農林水産業費
国庫支出金		項	03農地費
源	, , , , , ,	目	0 3 老朽ため池等整備事業費
地方債		細 目	005老朽ため池等整備事業
その他特財		細	
一般財源	千円		
【コスト推移】	亚比00万亩(海然日21)	VEOUE (N. M.	以中66年度(4.数)
-t	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	
事業費合計	3,510 千円	8, 119	千円
【総合評価】			
			↑ □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	┃予算の適正な執行によ ┃施する。	:り、半成32年度	末の完了を目標に現状維持し事業を実
※妥当性·有効性	/ do / do		
・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価			

事	務	重	業	夕	永室地区中の池整備事業	部	局	名	産業経済部
7'	477	7'	π	7 µ		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	面積				h a	30	30	

【事業宝績】

	業実績	Ę						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
調金	全設計	業務			式	1	1	
		た	成28	3年月	要におい	ては、市営事業に	こより調査設計算	養務を実施し
活分	動 指析 結	標果	~					
73	가 까다							

【 争 来)	双未】									
成 界	見 指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	田	標 値
事業進	捗率			%	100	100		平成32 年度		100
								牛皮		
b		成324	年度	度末の完了	了を目標として 事	事業を実施し、 言	計画どおり進捗が	「図られて	いる。	
成果分析	指標 結果									

加古川市事務事	事業評価シート〈平成28年度実施事業〉	
事務事業名	雁戸井地区経営体育成基盤整備	部 局 名 産業経済部
书 伤 书 未 石	事業	課(室)名 農林水産課
【基本情報】		
基本目標	04にぎわいの中で暮らせるまちをめざ	して
政策	01農業・水産業を振興する	
施策	01農業を振興する	
事業実施期間	平成23年度 ~ 平成32年度	
事 業 区 分	⑦投資事業	
地 区 別	加古川北地区	
関連根拠法令等	土地改良法第91条第6項(市町負担)	
【事業概要】		
現状と課題	用水路の老朽化が特に進んでおり、維持 伴っている状況であることから、事業を し農作業の省力化を図る必要がある。	管理と水管理に多大な労力の負担を 早期に完成させ、維持管理作業を軽減
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	ほ場整備の実施により水田の乾田化、農の育成、後継者づくりについて積極的に 水稲単作の経営から複合経営による収益 化を図り大型機械の共同利用により農家 の共同化も推進する。	取り組む。また、汎用耕地化を図り、 性の高い経営に転換する。農地の集団
対 象 ※誰、何に対して	雁戸井地区(八幡町上西条、中西条、下a	村地内)受益者、受益面積74.6 h
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	区画整理44.5ha(整地工、農道、3kmの整備を行う。平成26年度からする。	用水路、排水路等)、また用水路 0. 平成 3 2年度にかけて県営事業で実施
【コスト】		
	平成28年度(決算見込) 会 計	01一般会計
事業費合計	28,822 千円 款	0 6 農林水産業費
国庫支出金	千円 項	0 3 農地費
県 支 出 金	千円	0 4 ほ場整備事業費
地方債	24,400 千円	0.05)4日本生本业
その他特財	千円 細 目	005ほ場整備事業
一般 財源	4,422 千円	
【コスト推移】		
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算)	
事業費合計	28,822 千円 11,395 =	千円 3,542 千円
【総合評価】		
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合	
総 合 評 価	予算の適正な執行により、平成32年度 施する。	木の元」を日標に現状維持し事業を実
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価		

事	務	事	業	名		部	局 名	産業経済部
7	477	7'	$\overline{}$	~ µ	事業	課	(室) 名	農林水産課

【対象】

1/,	2N							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	益面積				h a	74. 6	74. 6	74. 6

【事業実績】

【尹耒夫祺】					
活 動 指	標 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
区画整理工		h a	12. 4	0	0
用水路工		k m	0. 1	0.2	0
平を	成28年	度において	ては、県営事業は	こより区画整理	匚及び用水路工
活動指標分析結果					

<u></u> [与	美成点	卡 】											
成	果	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
事	業進捗	率			%)	100	100	100	平成32 年度			100
										年度			
		平	成32	2年月	要末の	完了	を目標として	<u>-</u> 事業を実施し、記	上 計画どおり進捗だ	L 『図られて	いる。		
成分	果 指 結	標果	,,,	- 12	~,,,,,	,	21.14.20	, ,,, = , ,,, = 0 , ,			. 90		

事務事業名	市単独土地改良補	助事業	部 局 名 産業経済部 課 (室) 名 農林水産課
【基本情報】			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	じて
政策	01農業・水産業を振	興する	
施 策	01農業を振興する		
事業実施期間	~ 永	年	
事 業 区 分	⑦投資事業		
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市土地改良事業 補助金交付要綱	補助金交付要綱、	加古川市農業用排水機場災害対策事業
【事業概要】			
現状と課題	144日の44の日本	等の災害により、 公共施設にも甚大	老朽化した土地改良施設が被災し、地大な被害が頻発している。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	事業費の一部を補助す を図るとともに、地域	ることにより、農 の防災や環境の保	と業経営の合理化及び農業生産力の増強 民全を図る。
(C U (C (10) //) 4	L. I.	~ II - A II II	W. I. A
対 象 ※誰、何に対して	市内の土地改良区、水	利組合、農業団体	X、町内会
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	の査定を行い、受理し として交付する。補助	たものに対し事業 金は事業費が40 0.4となり、事	詩を受け、現地立会、事業内容、事業費 きの承認を行い、事業費の一部を補助金 00千円~3,000千円の場合は(事 事業費が3,000千円を超えると一律
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計	14,598 千円	款	06農林水産業費
国庫支出金	千円	項	0 3 農地費
源	千円	目	0 1 農地総務費
地 方 債 その他特財	千円 千円	細 目	0 1 5 土地改良補助事業
訳 一般 財源			
【コスト推移】	11,000 111		
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	i) 平成26年度(決算)
事業費合計	14,598 千円	12, 633	千円 17,893 千円
【総合評価】			
	□拡充 ■維持 □縮/	」 □改善 □統合	合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価 ※妥当性・有効性	防災機能の保全にも大 されるなか、地域住民	きく関わっている	盤の安定と共に、施設の持つ水害等の 。近年の集中豪雨や大規模地震が予測 を確保するためにも、適正な維持管理
・ 効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	は重要である。		

事務事業名	市単独土地改良補助事業	部 局 名	産業経済部
事 伤 事 未 石		課(室)名	農林水産課

【対象】

17.7	>/\ I							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
市内	小水利	組合等			集落	22	18	24

【事業宝績】

1.	ト大阪												
活	動	指	標	名	単	位	平成28	年度	平月	戊27年度	14	平成2	6年度
ため	池改修	工事	数		1	牛		0			4		9
水路	改修工	事数	ζ		1	牛		8			9		7
農道	改修工	事数	ζ		1	牛		1			0		1
							こなったか						

活動指標分析結果

件数となっている。これからも農業経営の合理化及び農業生産力の 増強を図るため補助事業を継続する必要がある。

<u> </u>	* 果以未													
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度		平成27年度	平成26年	度	目標年度	目	標	値
市業等	单独土地 実績件数	改良 [;]	補助事	÷	件	2	22	18		24	平成28 年度			22
	前年度より若干事業実績件数が増となっている。													

+ 7+ + W +	志方地区原皿池整	:備事業	部 局 名 産業経済部				
事務事業名		加予人	課(室)名農林水産課				
【基本情報】							
基本目標	04にぎわいの中で暮	らせるまちをめざ	して				
政策							
	01農業を振興する						
事業実施期間							
	⑦投資事業	从23十尺					
	志方地区						
関連根拠法令等	農村地域防災減災重業	実施要綱、土地改	良法第91条第6項(市町負担)				
【事業概要】	たみ油の老圷ルが准!	で存除わせ能でな	スため 日期に丁重な今出され 州	h lat i			
現 状 と 課 題	会体ししての欧巛空会	度の向上を図る必	るため、早期に工事を完成させ、地 要がある。	出収			
目的	改修することにより、	災害を未然に防止	し農業経営の安定を図る。				
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか							
対象	志方町原 受益者19	5戸、受益面積3	7. 3 h a				
※誰、何に対して							
	志方町原地区の老朽た	め池(皿池)に対	し、県営事業で堤体工を行う。堤体	は			
事 業 内 容	削刃金工伝で以修し、 る。	別伝則に削仮ノロ	ックまた取水施設、洪水吐を改修す				
※目的達成のため の手段・手法							
00千枚:于位							
【コスト】		【会計】					
	平成28年度(決算見込)		0 1一般会計				
事業費合計	12,096 千円	款	06農林水産業費				
1 国庫支出金	·	項	0 3 農地費				
県 支 出 金	千円		03老朽ため池等整備事業費				
源 地 方 債	11,200 千円						
内その他特財	千円	細 目	005老朽ため池等整備事業				
一般 財源	896 千円						
【コスト推移】		· 					
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)				
事業費合計	12,096 千円	968	千円 6,804 千円				
【総合評価】							
	□拡充 ■維持 □縮/	小 □改善 □統合	> □廃止 □休止 □完了				
総合評価	予算の適正な執行によ 施する。	り、平成29年度	末の完了を目標に現状維持し事業を	: 実			
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価							
	I						

事務事業名	志方地区原皿池整備事業	部 局 名	産業経済部
子 切 子 木 旬		課(室)名	農林水産課

【対象】

1/,	2N							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	益面積				h a	37. 3	37. 3	37. 3

【重業宝繕】

【 	業美	頹】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
	体工 (設等)	(洪水	吐・取	水	式	1	1	0
活分	動指析結	言	平成 2 设等)	8年度を施	度において エした。	では、県営事業に	こより堤体工(浴	共水吐・取水施

	¥ 業成果	<u> </u>										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
事	業進捗	率			%	100	100	100	平成29 年度			100
成	果指	平標	成29	年/	度末の完了	了を目標として 誓	事業を実施し、 言	計画どおり進捗な	ぶ図られて	いる。		
分	果指結	果										

志方地区松の木谷池整備事業 部 局 名 産業経済部 事務事業名 農林水産課 課 (室) 名 【基本情報】 基 本 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 平成26年度 平成29年度 事 分 ⑦投資事業 区 地 区 别 志方地区 農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担) 関連根拠法令等 【事業概要】 ため池の老朽化が進んで危険な状態であるため、早期に工事を完成させ、地域 全体としての防災安全度の向上を図る必要がある。 課題 現状と 改修することにより、災害を未然に防止し農業経営の安定を図る。 目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 志方町原 受益者401戸、受益面積84.4ha 対 ※誰、何に対して 志方町原地区の老朽ため池(松の木谷池)に対し、県営事業で堤体工を行う。 堤体は遮水シート工法で改修し、前法面に制波ブロック、また取水施設、洪水 業 事 内 容 吐を改修する。 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 06農林水産業費 事業費合計 535 千円 款 国庫支出金 03農地費 千円 項 財 03老朽ため池等整備事業費 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 400 千円 地 内 005老朽ため池等整備事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 135 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 合 計 535 千円 535 千円 8,283 千円 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 予算の適正な執行により、平成29年度末の完了を目標に現状維持し事業を実 総 合 評 価 施する。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

事	務	事	業	夕	志方地区松の木谷池整備事業	部	局	名	産業経済部
4,	1)7	-71	X	~H		課	(室)	名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	上面積				h a	84.4	0	84. 4

【事業実績】

活 動	指	標	名	単	立 平	区成28年度	平成27	年度	平成26年度	<u>:</u>
調査設計	業務			式		1		0		1
堤体工(施設等)	洪水吐	:・取:	水	式		0		0		0

平成26年度においては、市営事業により調査設計業務を実施、平成27年度は採択申請及び法手続、平成28年度については、県営事業で実施設計を実施した。

【事業成果】

「事未以不」							1		
成果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
事業進捗率			%	100	0	100	平成29 年度		100
	平成 2	9年	度末の完し	了を目標として 事	事業を実施し、言	計画どおりの進捗	歩が図られ	ている。	

成果指標分析結果

事務事業名	志方地区西山新池整備事業	部局名産業経済部							
【基本情報】		課(室)名 農林水産課							
基本目標	0.4にぎわいの中で暮らせるまちをめ								
	01農業・水産業を振興する								
	01農業を振興する								
事業実施期間									
	⑦投資事業								
	志方地区								
関連根拠法令等	■	改良法第91条第6項(市町負担)							
【事業概要】									
現状と課題	今休し1 ての時の生み座の白しむ回る	あるため、早期に工事を完成させ、地域 必要がある。							
	改修することにより、災害を未然に防	止し農業経営の安定を図る。							
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか									
対象	志方町西山 受益者24戸、受益面積	4. 6 h a							
※誰、何に対して									
事業内容	志方町西山地区の老朽ため池(新池)に対し、県営事業で堤体工を行う。堤体 は前刃金工法で改修し、前法面に制波ブロックまた取水施設、洪水吐を改修す								
※目的達成のため	\\ \delta_{\circ}								
の手段・手法									
【コスト】	【会計】								
		計 01一般会計							
事業費合計	2,365 千円 款	06農林水産業費							
」国庫支出金		0 3 農地費							
県 支 出 金		03老朽ため池等整備事業費							
地 方 債	H								
その他特財		005老朽ため池等整備事業							
一般 財源	165 千円								
【コスト推移】									
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決	算) 平成26年度(決算)							
事業費合計	2,365 千円 2,365	5 千円 12,930 千円							
【総合評価】		-							
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統	合 □廃止 □休止 □完了							
総合評価	予算の適正な執行により、平成29年 施する。	度末の完了を目標に現状維持し事業を実							
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価									

 事務事業名
 志方地区西山新池整備事業
 部局名 産業経済部

 課(室)名
 農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

1/1	~,,,							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	面積				h a	4.6	0	4.6

【事業実績】

【尹耒夫称	₹∦						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
調査設計	業務			式	1	0	1
堤体工(流施設等)	洪水吐	:•取	水	式	1	0	0
活動指分析結	平施標果	成 2 8 した。	3年/	要におい~	ては、県営事業に	こより実施設計及	及び堤体工を実

	事業成と	表 】									
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
事	業進捗	率			%	100	0	100	平成29 年度		100
									牛皮		
		_									
-4-	H +6		成29	9年月	度末の完	了を目標として	事業を実施し、記	計画どおりの進掘	歩が図られ	ている。	
分	果指标結	宗									

事務事業名	応力町地区善念は項	易整備 事 耒	部 局 2	首							
ず 切 ず 木 石			課(室)	8 農林水産課							
【基本情報】	L										
基本目標	04にぎわいの中で暮ら	かせるまちをめざ	じて								
政策	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
施策											
		 342年度									
事業区分		112 /2									
	志方地区										
	土地改自注 不動帝登章										
関連根拠法令等	工地										
【事業概要】											
現状と課題	具体水汁效用供けの図ま	F成4年度の換地処分後、所有権の移転に伴う測量や農地転用に伴う分筆・測量等で法務局備付の図面・登記簿との相違が次々に判明し、支障をきたしている。									
目的	現状と法務局備付図面を	一致させる									
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか											
	ほ場整備事業地区内土地	亦有者									
対 象											
※誰、何に対して											
	用地確定測量及び用地確	定登記									
事 業 内 容											
※目的達成のため の手段・手法											
-											
【コスト】		【会計】		A = 1							
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般								
事業費合計	,	款	0 6 農林								
国庫支出金		項	0 3 農地								
県 支 出 金		目	04は場	整備事業費							
地方債		\$III	005Æ	場整備事業							
その他特財		細目	2 3 3 (3)	-//- 11 VIII 1 - //							
一般財源	4,370 千円										
【コスト推移】	亚比99年度(汝曾日江)	亚出97年 (油質	.) 5	7比96年在(汝答)						
事業費合計	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算		Z成26年度(決算 4 526							
	4,370 千円	4, 370	T円	4, 536	一一						
【総合評価】		口과羊 口处/	<u> </u>		ン フ						
]拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了										
総 合 評 価	連路・水路で区切られた に基づき事業を進めてい	路・水路で区切られた区画ごとに確定測量を行っており、引き続き年次計画 基づき事業を進めていく。									
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価		-									

 事務事業名
 志方町地区善念ほ場整備事業
 部 局 名 産業経済部

 課(室)名
 農林水産課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

1/1,									
対	象	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
確定	定測量	累計面	磧		h	a	12. 9	12. 1	11. 73

【事業実績】

	美 美額	₹ 】								
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度		平成26年度
確定	三測量	累計面	積		h a		12.9	12.	1	11. 73
		予	定通り) Ø	業務が気	之]	した。			
活真分	動 指	標								
分(げ 結	未								

【争	業 成り	₹】									
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
確定	測量	面積			h a	0.8	0.4	1.07	平成35 年度		15. 55
地図訂正(地積含む) 面積					h a	0. 5	1.1	0. 44	平成35 年度		11. 35
成身分材	果 指 括	予標果	定通り	の	業務が完了	了した。					

事務事業名	神吉地区馬頭池整備事	·業	部 局 名 産業経済部 課 (室) 名 農林水産課								
【基本情報】			BK (L) TH ACTIVITION								
基本目標	04にぎわいの中で暮らせる	らまちをめさ	ごして								
政策	01農業・水産業を振興する	, 5									
施策	01農業を振興する										
事業実施期間	平成25年度 ~ 平成29年	<u> </u>									
事業区分	⑦投資事業										
地 区 別	加古川西地区										
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業実施要	夏綱、土地改	(良法第91条第6項(市町負担)								
【事業概要】											
現状と課題		策な状態であ 可上を図る必	っるため、早期に工事を完成させ、地域 公要がある。								
目的	改修することにより、災害を	と未然に防止	こし農業経営の安定を図る。								
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか											
	東神吉町神吉 受益者362	2 戸、受益面	 ī積80ha								
対象											
※誰、何に対して											
事 業 内 容	東神吉町神吉地区の老朽ため 堤体は補強盛土を行い、前沿	り池(馬頭池 よ面に制波フ	1) に対し、県営事業で堤体工を行う。 「ロックまた取水施設を改修する。								
※目的達成のため											
の手段・手法											
【コスト】		【会計】									
	平成28年度(決算見込)	会 計	01一般会計								
事業費合計	25, 169 千円	款	0 6 農林水産業費								
国庫支出金	千円	項	0 3 農地費								
源		目	03老朽ため池等整備事業費								
地方債	, , , , , , ,	4m = -	005老朽ため池等整備事業								
その他特財	113	細目	O O O DITTO TO THE WILL IN THE								
一般財源	769 千円										
【コスト推移】	亚比90年度(池管日は) 亚巴	+07左	() 亚巴OC年 (油管)								
事業費合計		成27年度(決算 205									
	25, 169 千円	600	千円 9,998 千円								
【総合評価】	□技士 ■维技 □绕小 □	北羊 口纮/									
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 予算の適正な執行により、平成29年度末の完了を目標に現状維持し事業を実										
総合評価	が昇の過止な物がにより、† 施する。	以石ヨ十段	ハッル」でロ际に処仏雁打しず未せ天								
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価											

事務事業名	神吉地区馬頭池整備事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 和		課(室)名	農林水産課

【対象】

<u> </u>	2N							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	益面積				h a	80	80	80

【重業宝繕】

【事業実績	湏】						
活 動	指	標	名単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
堤体工(施設等)	洪水吐	取水	左 :	,	1	1	0
活動指分析結		成28年	- 年度にお	さいて	では、県営事業に	こより堤体工を気	に施した。

【事	業成身	果】										
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
事	業進捗	率			%	100	100	100	平成29 年度			100
									牛皮			
				-								
		平	成29年	丰厚	度末の完了	「を目標として§	上 事業を実施し、記	上 計画どおり進捗が	「図られて	いる。		
成分	果 指 析 結	標果										
	VI /IA	- 1										

事務事業名	鼎地区長慶井堰整	備事業	部 局 名 産業経済部									
The state of the s			課(室)名 農林水産課									
【基本情報】	『~ イノー セムトトの中で草	> ユフナナ むみぞ	S1 —									
基本目標			L*C									
政 策	7F 427 14 7 27 14 47 14	興する										
施 策 宝 族 期 問		- Book 世										
事業実施期間		成30年度										
事 業 区 分 地 区 別	⑦投資事業 志方地区											
	志万地区 農村地域防災減災事業実施要綱、土地改良法第91条第6項(市町負担)											
関連根拠法令等	展刊 地	夫 ル 安神、 上心以	.民伝弟31末分0匁(川門 只元/									
【事業概要】	「毋业中子!!! 〒	*#. \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	*************************************									
現状と課題	本のは明には続してて	の治水機能が劣っ	·分、また本来の構造が失われ、前後一 っており、洪水等からの安全を確保する っる。									
目的	農業用河川工作物の構じ、災害の未然防止を		治水上支障があるため、改善処置を講									
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	O. M. D. VIVINION III	凶 'ひ'。										
対象	西神吉町鼎 受益者 5	7戸 受益面積1	8. 4 h a									
※誰、何に対して												
※証、刊代の												
	志方町志方町地区にあう。	る井堰(長慶井堰	(A) に対し、県営事業で整備補強を行									
事業内容	ノ。											
※目的達成のため の手段・手法												
【コスト】		【会計】										
	平成28年度(決算見込)		0 1 一般会計									
事業費合計		款	06農林水産業費									
国庫支出金		項	03農地費									
財 県 支 出 金			07農村整備事業費									
源地方債		目	O I JEVIN T JOS									
内その他特財	/	細 目	005農村整備事業									
訳 一般財源												
【コスト推移】												
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	工) 平成26年度(決算)									
事業費合計	4,759 千円	4,759 千円 990 千円 319 千円										
【総合評価】												
	□拡充 ■維持 □縮/	」 □改善 □統台	合 □廃止 □休止 □完了									
総 合 評 価	予算の適正な執行によ 施する。	り、平成30年度	末の完了を目標に現状維持し事業を実									
※妥当性·有効性	NE / ひo											
・効率性の視点をもとに総合的												
に判断した評価												

事務事業名	鼎地区長慶井堰整備事業	部 局 名	産業経済部
事 切 事 未 和		課(室)名	農林水産課

【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益					h a	18. 4	18. 4	18. 4

【事業実績】

<u>【</u>	事業実績	Ę						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
頭	首工				式	1	0	0
		平	成2	8年月	度において	ては、県営事業に	こよる改修工事を	を実施した。
活	動指結	標						
分	析 結	果						

【争	¥灰.										-
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
事	業進捗	率			%	100	100	100	平成30 年度		100
									牛皮		
			成30	年月	度末の完	了を目標として	事業を実施し、記	計画どおり進捗か	図られて	いる。	
成分	果 指 結	標果									
	VI 71B	,,,									

74 H 7 1 1 1 4 4 3 7 4	ませいこの共原教		却 口 /
事務事業名	平荘地区里井堰整 	:備爭業	部 局 名 産業経済部
			課(室)名 農林水産課
【基本情報】			
基本目標			して
政策	01農業・水産業を振	興する	
施策	01農業を振興する		
事業実施期間	平成26年度 ~ 平	成29年度	
事 業 区 分	⑦投資事業		
地 区 別	両荘地区		
関連根拠法令等	農村地域防災減災事業	実施要綱、土地改	良法第91条第6項(市町負担)
【事業概要】			
現 状 と 課 題	油の区間に比試してる	の治水機能が劣っ	分、また本来の構造が失われ、前後一 ており、洪水等からの安全を確保する る。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	農業用河川工作物の構じ、災害の未然防止を		治水上支障があるため、改善処置を講
対 象 ※誰、何に対して	平荘町里 受益者62	戸 受益面積8.	9 h a
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	平荘町西山地区にある	井堰(里井堰)に	対し、市営事業で整備補強を行う。
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計
事業費合計	4,453 千円	款	0 6 農林水産業費
11 国庫支出金	千円	項	0 3 農地費
県 支 出 金 地 方 債	3,651 千円	目	0 7 農村整備事業費
地 方 債 そ の 他 特 財 訳	700 千円 千円	細目	005農村整備事業
一般財源	102 千円		
【コスト推移】	T Dooks to (Al fits and		
- NIC - H	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	
事業費合計	4,453 千円	4, 453	千円 5,755 千円
【総合評価】			
	□拡充 ■維持 □縮/		
総合評価	予算の適正な執行によ 施する。	り、平成29年度	末の完了を目標に現状維持し事業を実
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価			

事務事業名	平荘地区里井堰整備事業	部 局 名	産業経済部
事 伤 事 未 石		課(室)名	農林水産課

【対象】

17.3	2,1							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
受益	蓝面積				h a	8.9	0	9. 1

【重業宝繕】

【事業実績							
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
調査設計業	美務			式	1	0	1
				<i>k</i> -k			
改修工事· 所	· 修繕	工事行	置	箇所	0	0	0
	77	40.6) F =	/	-)1 <u>+ % + </u> **)		₩ 26
活動指力分析結	た。	汉 2	3 年月	せいおいて	、 は、 巾宮 事業 に	こより実施設計刻	糸務を 耒施し

	『業成 』	具】									
成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標 値
事	業進捗	率			%	100	0	100	平成29 年度		100
									年度		
- 15	ш 112	平	成29	9年月	要末の完っ	了を目標として	事業を実施し、言	計画どおりの進捗	歩が図られ	ている	0
成分	果 指 析 結	標果									

農業委員会一般事務事業 部 局 名 農業委員会事務局 事務事業名 課 (室) 名 農業委員会事務局 【基本情報】 基 本 目 標 0.4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 永年 事 分 ①一般事務経費事業 業 区 地 区 别 市内全域 農業委員会等に関する法律、農地法 関連根拠法令等 【事業概要】 農業委員会等に関する法律改正(平成28年) 農地法改正(平成28年)、 都市計画法(昭和43年)、農業振興地域の整備に関する法律(昭和44 課題 現状と 年)、農業経営基盤強化促進法(平成5年)、農地中間管理事業の推進に関す る法律が施行など 農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務等の遂行。 目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市民(主に農業者) 対 ※誰、何に対して 農地の転用や権利移動等の許可申請、届出等の法令事務を適正に行った。その 他、農地や農業者に関する証明事務等を実施している。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 01一般会計 平成28年度(決算見込) 会 計 06農林水産業費 事業費合計 2,966 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 0 1 農業委員会費 927 千円 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 005農業委員会一般事務事業 細 その他特財 73 千円 訳 源 般 財 1,966 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 2,720 千円 合 計 2,966 千円 7,568 千円 【総合評価】 □拡充 □維持 □縮小 ■改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 農業委員会(地方自治法第180の5に規定する執行機関)の事務 総 合 評 価 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

事務事業名 農業委員会一般事務事業 部局名 農業委員会事務局 課(室)名 農業委員会事務局

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

	沙							
対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

【 尹	亲 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
1300	<i>></i> C	111	.101	^H	T 1.1.	1 /2/20 1 /2	1/1/2111/2	1 //200 1 /2	H W T Z	Н	.1/1/	112
												_
15												
成分	果 指析 結	標里										
<i>)</i> J '	レ1 小口											

|農業委員会事務委託事業 部 局 名 農業委員会事務局 事務事業名 課(室)名農業委員会事務局 【基本情報】 本 基 目 標 04にぎわいの中で暮らせるまちをめざして 策 01農業・水産業を振興する 政 施 策 01農業を振興する 事業実施期間 永年 事 分 ⑤市施策事業(経常) 業 区 地 区 别 市内全域 農業委員会等に関する法律第6条第3項第2号 関連根拠法令等 【事業概要】 農業者の高齢化、担い手不足、地域コミュニティの希薄化。 現状と課題 「農委だより」を配布し、農業及び農業者に関する情報提供を 市内の農家に、 目 的 行うことにより、地域の農業振興を図る。 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 市民(主に農家) 対 象 ※誰、何に対して 地域の農業団体長を通じて、「農委だよりの配布業務(年3回)」を行う。 事 業内容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 06農林水産業費 事業費合計 868 千円 款 国庫支出金 0 1 農業費 千円 項 財 0 1 農業委員会費 千円 県 支 出 金 目 源 方 債 千円 地 内 005農業委員会一般事務事業 細 その他特財 千円 訳 源 般 財 868 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 868 千円 868 千円 1,173 千円 合 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 目的、社会情勢、コスト、手段等を総合的に判断すると、ここ数年は、現行の 総 合 評 価 事業内容が妥当と判断する。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価

事務事業名

農業委員会事務委託事業

部 局 名 農業委員会事務局課(室)名 農業委員会事務局

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平	成28年度	度	平历	过27年度		平成	26年度	
農家 施計書)	戸数 画書及	(水稲	生産	実画		戸		7,0	041		7, 04	41		7, 16	9

【事業実績】

	事業美	額】							
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動数					口		453	453	755
		I	良好						
活分	動指析結	標							
分	析 結	米							

【車業出用】

! 指								
7 11	標 名	占 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
情報提供率			100	100	100	平成28		100
						牛皮		
良	 好	1				l		
指標料								
		良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好